

「トラブル対応と品質管理に貢献！」

VIGI によるフードディフェンス強化」



概要

長野県で2リットル飲料水の製造販売を手がける株式会社安曇野ミネラルウォーター様では、新設された第二工場において、監視体制を強化するため、監視体制に弊社 VIGI を導入されました。既設の第一工場では、監視カメラを一部導入していたものの、解像度が高くなかったため十分な監視体制とは言えず、さまざまな課題が残っていました。初期の導入状況を踏まえ、内部および外部の監視体制を大幅に強化しました。

課題

- ・建設時に導入された監視カメラの画質が低く、映像による検証が困難だった
- ・出社時に水製造機が破損していた事例があり、原因特定ができなかった
- ・フードディフェンスの観点から、内部・外部の監視体制を強化する必要があった

導入製品

・ VIGI 8MP フルカラードーム型
ネットワークカメラ 「[InSight S285](#)」

・ VIGI 4MP 屋外用フルカラーバレット型
ネットワークカメラ 「[InSight S345](#)」



・VIGI 32チャンネルネットワーク
ビデオレコーダー 「[VIGI NVR4032H](#)」



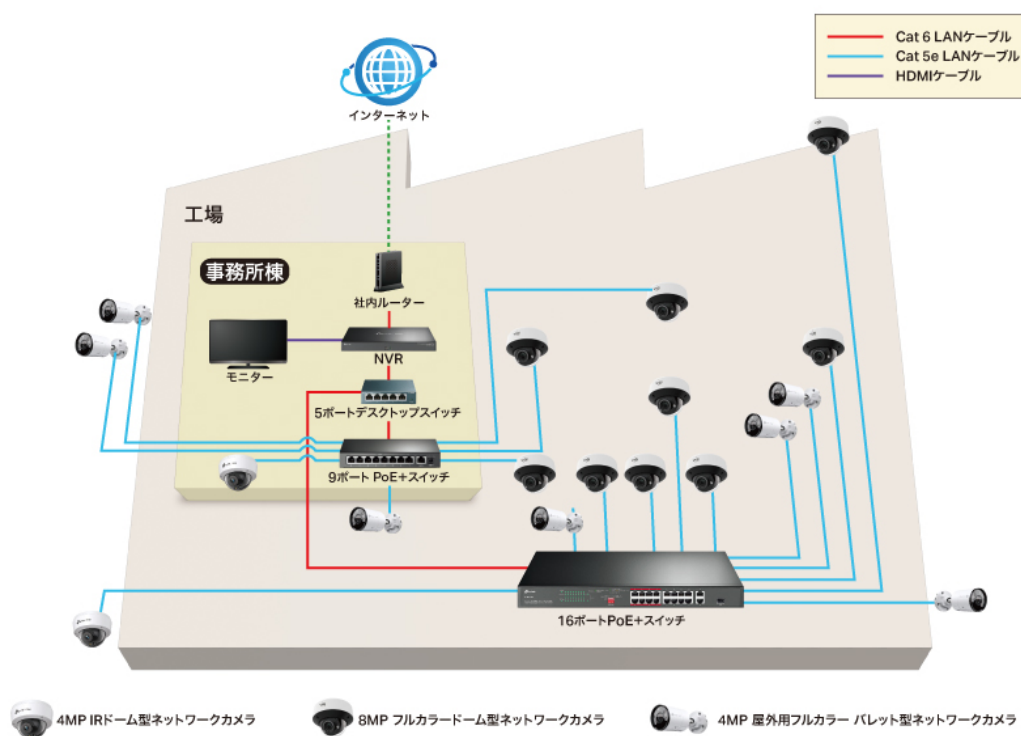
・5ポート ギガビット デスクトップスイッチ
「[TL-SG105](#)」



・16ポート 10/100Mbps+2ポート
ギガビット ラックマウントスイッチ 「[TL-SL1218P](#)」



設置・構成



【構成のポイント】

場所に応じてカメラの性能を使い分け

導入にあたっては、工場内の目的や設置環境に応じて8MPカメラと4MPカメラの2種類を使い分け、監視体制の強化に成功しました。ライン周辺など特に重要なエリアには高精細な8MPカメラを設置し、人物の動きや物の流れをより鮮明に記録できるように配慮。一方、出入口や共用通路など比較的広範囲をカバーすべき箇所に

は、コストバランスに優れた 4MP カメラを採用しています。

これにより、フードディフェンスの観点から必要な監視レベルを維持しつつ、費用対効果の高い構成を実現しました。運用面では、「見やすさ」や「画質の安定性」から万が一のトラブルや異常が発生した際の事後確認に主に活用しており、高く評価をいただいております。将来的にはネットワーク機器との連携やさらなる拡張も視野に入れており、柔軟な運用体制を見据えた設計となっています。

担当者のコメント：

「画質に問題もなく見やすい。価格も断然安かったです。拡張の可能性があるので、ネットワーク製品にも期待したい。」

ポイント

- ・ 設置場所に応じて 8MP と 4MP のカメラを適切に使い分け、画質とコストのバランスを最適化
- ・ 事後確認に活用できる録画体制を構築し、トラブル発生時の迅速な検証と対応を可能に
- ・ 将来的な拡張やネットワーク機器との連携も見据えた柔軟な構成で運用の幅を確保

さいごに

飲料製造業においては、フードディフェンスの重要性が年々高まっています。品質と安全を守るためには、初期段階からの体制構築がカギとなります。同様の課題をお持ちの企業様には、ぜひ一度ご検討されてみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ先

【一次販売店】

株式会社キャトルクリエイト(担当:山澤様)

TEL:050-3613-0229

E-Mail: sale@quatre-create.co.jp

URL: <https://quatre-create.co.jp/>

【本件販売担当】

Broker&Agent,Inc. (担当：高原様)

〒224-0029 横浜市都筑区南山田三丁目 38-3

tel : 045-594-6546

URL <http://broker-agt.com>

mail : takaharan@broker-agt.com

【本導入事例に関するお問い合わせ先】

ティーピーリンクジャパン株式会社 (担当：鳥谷部)

TEL: 03-6806-0912

Email: sales.jp@tp-link.com

URL: <https://www.tp-link.com/jp/>